

令和3年度（2021年度）公立小松大学入学者選抜方法（一般選抜）の予告について （第2回）

標記の件について、下記の通りお知らせします。

1 個別学力検査等について

実施教科・科目は、全学部ともに変更ありません。

2 大学入学共通テストについて

（1）国語の記述式問題の取り扱いについて

- ①記述式問題の評価の段階に応じて点数化し、択一式問題の点数に加点します。
- ②記述式問題の配点は、各学科が定める択一式問題の満点の10%程度とします。加点後の点数が満点を越えた場合、その超えた分の点数を切り捨てます。

（2）外国語「英語」の配点について

外国語「英語」はリーディング100点を2倍し200点、リスニング100点を0.5倍し50点、計250点を基準として、各学科で定める配点とします。

（3）英語の資格・検定試験の取り扱いについて

- ①本学において、英語の資格・検定試験の受検を「出願資格」とはしません。
- ②国際文化交流学部のみ、大学入学共通テストの外国語「英語」の点数に、資格・検定試験の結果を加点します。
- ③『各資格・検定試験とCEFRとの対照表「文科省作成（平成30年3月）」』に記載のB1レベル以上の成績をその段階に応じて点数化し、択一式問題の点数に加点します。加点は、択一式問題の満点の10%程度とします。加点後の点数が満点を越えた場合、その超えた分の点数を切り捨てます。

3 調査書の活用について

全学部の一般選抜において、志願者の点数が合否ラインで同点となった場合に調査書による「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価を行い、その評価が高いと判断する志願者を優先的に合格とします。

※注意

本予告は、令和元年9月11日付けの内容であり、今後変更となる場合があります。